

JCI-TC-155A 建設分野へのジオポリマー技術の適用に関する研究委員会  
第12回幹事会\_議事録

日 時：2017年3月7日(火) 10:00～12:30

場 所：JCI第3会議室

出席者：(委員長)一宮, (副委員長)畑中, (幹事長)新, (幹事)国枝, 合田, 原田

欠席者：なし

配布資料：K12-0 第12回幹事会\_議事次第

K12-1 第11回幹事会\_議事録(案)

K12-2 委員名簿

K12-3 報告書(案)170307版

K12-4-1 WG1:議事メモ1/23

K12-4-2 WG1:中間報告(6/24)でのWG1関連のPPT資料

K12-4-3 WG1:議事メモ2/13

K12-4-4 WG1:配合と生成物の整理(メール)

K12-4-5 WG1:配合と生成物の整理

K12-5-1 WG2:議事メモ1/25

K12-5-2 WG2:議事メモ3/3

K12-5-3 WG2:共通実験方法3/3

K12-5-4 WG2:共通実験配合例

K12-5-5 WG2:共通実験配合に関するメール

K12-5-6 WG2:共通実験結果の例(大分高専)

K12-5-7 WG2:共通実験結果の例(九州大学)

K12-5-8 WG2:共通実験配合の検討データ

K12-6 WG3:議事メモ2/16

## 議事

### 1. 委員長挨拶

委員長の一宮先生より挨拶があった。

ジオポリマーのSWOT分析と性能照査型設計法の適用, FAとBSの混合比と生成物に関するポンチ絵が紹介され, ジオポリマーに関する意見交換があった。

- Strength強化, Weaknessの克服, 高度化と先鋭化がキーワードとして取り上げられた。
- 性能照査型設計法の取組み方が重要となる。
- RCD工法, 羽田空港D滑走路の事例(規準化)を参考できる可能性がある。→限定条件
- 理論体系が構築されている過程であっても, 社会要求の中で実践すべき状況であれば, 性能照査型設計が有用である。
- ジオポリマーはアルカリアクティベートの一分野(重合体)ではないか。
- アルカリアクティベートについては, 厳密には①シリカの溶解, ②シリカの縮重合が順序立てて進行すると考えられる。
- ジオポリマーに関する性能規定と仕様規定についてわかりやすく提示することも重要である。

- ・WG3 では、ジオポリマーの特長を活用できる性能照査設計の適用先を追及してはどうか。
- ・構造物のある部材でジオポリマーを適用できないか。  
※インフラの設計をイメージできるように(トンネルの覆工など)
- ・NASH は前駆体(一部ポリマーも含む)とみなせると考えられる。

## 2. 第 11 回幹事会\_議事録の確認

新幹事長より、【資料 K12-1】に基づいて、前回議事録(案)の確認が行われ、一部修正の後、承認された。

## 3. 委員会報告書(案)の検討

新幹事長より、【資料 K12-3】に基づいて、委員会報告書の目次案について説明があった。新たに報告のあった担当案について確認した。

- ・施工事例を 5 章として、新たに挿入する。なお、3.6 節では、材料の観点に着目して適用事例や展望について述べる。

## 4. WG の活動報告

【WG1】反応機構(主査：新幹事長，副査：橋本委員)

- ・2/23 に分科会を実施した。
- ・3/16 に分科会をする。

【WG2】力学特性・耐久性・構造(主査：国枝幹事，副査：佐川(康)委員)

- ・1/25 に分科会を開催した。
- ・3/3 に分科会を実施した。

【WG3】製造・施工(主査：原田幹事，副査：合田幹事)

- ・2/16 に分科会を実施した。

## 5. 最終報告会の実施計画

- ・日時：2017 年 9 月 29 日(金) 10:00~16:30
- ・場所：品川区立総合区民会館 きゅりあん 小ホール(東京都品川区東大井 5-18-1)
- ・プログラム：
 

第一部	WG 成果報告
第二部	研究発表会
第三部	特別講演 (Prof. J. Davidovits)
- ・広報スケジュール
- ・研究発表者の選定
- ・ダビドビツ先生招聘の準備状況

## 6. 今後の予定

- ・報告書 初稿 5 月末，最終稿 8 月末
- ・共通実験 開始 3 月中旬，終了 4 月末(オプションは別途)
- ・準備委員会 幹事会，WG 会議